

第3回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第3回安曇野市環境審議会
2	日時	令和8年3月17日(火) 午後1時30分から午後3時45分まで
3	会場	安曇野市役所4階大会議室
4	出席者	環境審議会 本木 修一 会長、磯野 康子 副会長、佐々木 俊之 委員、 須之部 大 委員、山崎 淳 委員、畑中 健一郎 委員、山田 稔 委員、 今井 隆一 委員、丸山 直樹 委員、堀井 勇司 委員、南方 裕生 委員
5	市側出席者	市民生活部 赤沼部長、環境課 百瀬課長、ゼロカーボン推進課 龍野課長 環境政策担当 所補佐、柴田係長、巢山主任、内田主事、環境保全担当 中島補佐 資源循環推進担当 城之内係長、ゼロカーボン推進係 平沢係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0名
8	会議概要作成年月日	令和8年3月30日
協 議 事 項 等		
【進行表】 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 報告事項 (1) 令和7年度環境課、ゼロカーボン推進課の事業報告について 4. 協議事項 (1) 環境基本計画 令和7年度 年次報告(中間)について 環境基本計画環境指標達成状況 5. その他 6. 閉会 【議事】 報告事項(1) 令和7年度環境課、ゼロカーボン推進課の事業報告について <環境課・ゼロカーボン推進課から説明> <質疑・意見> なし 協議事項(1) 環境基本計画 令和7年度 年次報告(中間)について <<各ワーキンググループでの審議>> <評価・意見> 【グループA】 (No. 1) ・ 目標①について、自然観察会は応募者数も多く、継続して欲しい。また、抽選から外れてしまった人を、フォローできる体制を整える必要があると考える。		

- ・ 目標②について、取り組みに関する市民や事業者への周知が足りていない。

(No. 10)

- ・ 特になし。

(No. 15)

- ・ 特になし。

(No. 16)

- ・ 昨年度の報告書では、「情報のみえる化システム」について、記載があったが、その後どうなったか。

(No. 17)

- ・ 引き続き、推進して欲しい。

(No. 18)

- ・ 目標①については、松枯れの処理本数が1000本以上となったとしても、対応しているため、評価Aと考えてよい。
- ・ 目標②について、散布を目標にするだけでなく、散布を無くすための根本的な解決を目指して欲しい。

(No. 22)

- ・ 目標②について、捕獲の数値目標の根拠を示して欲しい。

(No. 24)

- ・ シートの題名（緑の恵み〜）について、農産物の収穫などを想起させるが、内容としては都市緑化であるため、題名を変更した方がよいと考える。

(No. 26)

- ・ 目標②について、実施内容の記載は、点検評価に記載した方がよい。
- ・ 出前講座など、引き続き力を入れて欲しい。

(No. 27)

- ・ 特になし。

【グループB】

(No. 2)

- ・ 特になし。

(No. 3)

- ・ 目標①について、臭気の原因となる家畜のフンを転換していくために、堆肥化に向けた事業者への投げかけを継続して欲しい。

(No. 13)

- ・ 今後も継続して欲しい。

(No. 14)

- ・ 講座の案内など、今後も継続して欲しい。

(No. 19)

- ・ 目標②について「集落営農組織の設立支援」と記載があるが、新しく設立された組織はあるのか。課題にも「組織の設立そのものは農業者の自主性に全面的に依らざるを得ない」と書いているため、「設立及び経営支援」という方が適切だと考える。

(No. 20)

- ・ 目標①について、計画、実行の値がなにを指しているのか不明瞭。目標設定を改めるべき。

(No. 21)

- ・ 有機米の提供だけでなく、提供を通して、農家や環境、有機肥料との関わりを多くの人に知ってもらうことを目的にすべき。

(No. 23)

- ・ 特になし。

(No. 25)

- ・ 目標①について、広告物等の基準について、市民への周知が足りていないと感じる。啓発に力を入れるべき。
- ・ 目標②について、今後も継続して欲しい。

(No. 28)

- ・ 目標①と目標②について、結果が目標を大きく上回っているため、前年度の数値を反映し、適切な目標設定をするべき。
- ・ 目標①について、補助金交付の予算の上限があるならば、より具体的な件数で数値目標を立てることができると思う。

【グループC】

(No. 4)

- ・ ゴミ捨てについて、ルールを守らない人が一定数いる。モラル向上に繋がるような目標を入れることが好ましい。
- ・ 目標②について、交付件数目標を事業者と一般家庭で分け、設定すべきと考える。

(No. 5)

- ・ 事業者への廃棄物の意識付けを徹底して欲しい。
- ・ 目標①について、計画には、目標総量を記載した方がよい。
- ・ 目標②について、会議は開催済みため、評価Aとする。

(No. 6)

- ・ 目標①について、アクセス数が分からないものを、今後も目標にしていくのか。
→設定の都合上、アクセス数は来年度から算出される。

(No. 7)

- ・ 広報などによる、市民への周知を継続してもらいたい。

(No. 8)

- ・ 特になし。

(No. 9)

- ・ 特になし。

(No. 11)

- ・ 引き続き、市民への周知に努めて欲しい。

(No. 12)

- ・ 電気自動車の先行きは安定しておらず、今後の目標達成が難しい可能性がある。時勢を踏まえ、必要に応じて、目標設定を見直して欲しい。

(No. 29)

- ・デマンド交通は、地域の移動需要に応えることが主目的であるため、環境基本計画の目標に、入れなくてもよいと考える。

その他

＜環境課から報告＞

(午後 3 時45分 議事終了 閉 会)